



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年7月8日

第11号

暑さ対策・熱中症対策を柔軟に、適切に

北陸地方の梅雨明けももうすぐでしょうか、真夏のような暑さを感じることの多い今日この頃です。保護者の皆様には先週「本校の熱中症対策等について」のお知らせを配付しました。本校ではこれまでも安全面、体調面を最優先に考慮し、塩分タブレットや細かいグッズの使用について、個別の申し出があれば認める方向で対応してきましたが、今回改めて一斉に文面でお知らせすることで全保護者の皆様にご理解いただければと思っています。

基本的には、水筒の中身と塩分タブレットの持参については各ご家庭の判断にお任せします。また、登下校時の熱中症対策グッズの使用も任意であり、各ご家庭の判断にお任せします。各自の持ち物には記名をするなど自己管理の範囲内で利用されてはどうかと考えています。お知らせ文書を参考に対応をお願いします。

なお、登校後の学校での時間帯につきましては、各教室のエアコンやグラウンドのミストシャワー等を活用しながら熱中症対策に当たっていきます。学習の妨げになる各自のグッズは校舎内での使用を制限することもあります。ご理解のほどよろしくをお願いします。

向上・工夫・継続 「よく考える子」を目指して

保護者の皆様には1日(火)の学習参観に多数ご来校いただき、ありがとうございました。教室を巡回したところ、大好きなお父さんお母さんに注目されている気配を感じながら、子供たちはいつも以上に張り切って学習することができていたようです。保護者の方々も、我が子の姿を参観するだけでなく、話の内容をしっかりと聞き取りうなずいて反応されたり、学習活動の補助等に入り込んでくださったりと、熱心に関わっていただき大変ありがたく感じました。

★「わくスタノート」に注目！

この期間を利用して、児童玄関前では「わくスタノート展」を行いました。今回は16人分のノートが展示されました。どれも、向上心と工夫、継続の跡が感じられる力作ぞろいです。

朝の登校直後や給食後の時間等に、違う学年の子のノートも積極的に手に取り、「字がきれい」「細かく書いてある」と関心をもって見ている

子供たちがいます。また1日(火)には、学習参観の前後の時間帯を利用して、親子でノートに見入るご家庭もありました。何人かのお母さんは、「しっかりと勉強しているお子さんが多くてびっくりしました」「お家の方が問題を出したり丸付けをしたりしておられるお宅もけっこうありますね。私は子供にさせっ放しでした」と、率直な感想を私に伝えてくれました。私は「親子で楽しみながら取り組むことが効果的です」と答えました。

その日の授業で学習したことを基に復習したり、発展問題に取り組んだり、手持ちの資料集や図鑑等から興味のある部分をまとめ直したり、と思いに学習したいことを見つけて取り組めるのがわくスタノートのよさです。「宿題」というよりはまさに「自主学習」として子供の力で前向きに取り組んでほしいです。ただ、学力定着という面からは、計算問題等はやりっ放しにせずなるべく早く答え合わせをする、間違いがあればすぐ直す、というのが鉄則です。子供自身の力で丸付けができない場合は保護者の方でお願いします。また、間違いを放置せず、その後の学習を見届けることも大切です。その日のうちに、各ご家庭での見届けを是非、お願いします。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()



聴いて楽しい チャレンジして楽しい「サマーコンサート」

昨年度、寺崎健太郎先生（現 中央小学校）が立ち上げてくださったミニコンサートが、今年度、黒坂先生・廣瀬先生へと引き継がれ、去る4日（金）に「サマーコンサート」が開かれました。今回は歌唱（独唱、二重唱）、ピアノ連弾、サキソフォン演奏（ピアノ伴奏付き）の発表が行われ、よく知っている曲、初めて聴く曲、リクエスト曲等計6曲が演奏されました。途中、みんなで手拍子やかけ声を合わせる場面もあり、音楽室いっぱいに広がる音楽を皆で楽しみました。

最後に「次のコンサートに出演したい人は先生に言ってください」と、黒坂先生が呼びかけていました。自分の得意なことを生かそうとチャレンジする子が（そのよいお手本として、大人も）増えてほしいと、私も願っています。



シリーズ「教室におじゃまします」7月1日(火)5年音楽科の巻

5年の音楽は6年担任の山本先生が担当しています。この日はショスタコービチ作曲の「祝典序曲」を鑑賞する学習でした。まず教科書の写真を



見て、知っている楽器をいろいろと見つけることができました。この曲がオーケストラ(管弦楽)で演奏される曲だということを確認し、1回目の鑑賞です。さまざまな楽器の音に注意して聴きました。「最後にたくさんの楽器の音が重なって盛り上がっていた」といった感想を音楽ワークにメモしていました。



教科書には見開きで曲の構成が図示されていました。主な旋律3種類と演奏する楽器によって全体が大きく7つのまとまりに分かれていることが示されていました。次はそれを見ながらもう一度曲を聴きます。「あ、このメロディだ」「これはバイオリンの音」などにより注意深く鑑賞することができました。



曲に合わせて軽く身体を動かしたり、手を指揮者のように動かして楽しんでいたりしている子もいました。

最後は「吹奏楽」の名曲として「アフリカン・シンフォニー」を鑑賞し、学習を終えました。



<おまけのひとりごと> 去年の「だれでも参加ミニコンサート」では寺崎先生が弦楽器（バイオリン、ビオラ、チェロ）を何度も生演奏してください、その音色を皆で存分に楽しむことができました。今年は廣瀬先生のアルトサクソ、そして黒坂先生はピアノと、若い2人の先生が各自の特技を生かし、子供たちに音楽の楽しさを伝えてくれているのがとても嬉しく、頼もしくも感じました。私も少しだけ歌を（子供たちがあまり知らない曲もあえて）歌いました。音楽には心を豊かにし生活を潤す力があると信じています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()